

社会福祉法人 駿河厚生会

地域密着型介護老人福祉施設 柏葉尾苑

令和6年度 第4回 運営推進会議

令和6年11月22日（金）14：00～

1. 開会の挨拶
2. 事業所の概要説明
3. 入所者状況の報告
4. 活動状況の報告
5. 管理栄養士から
6. その他ご意見、ご要望、助言等
7. 閉会の挨拶

<事業所の概要> ※重要事項説明書より抜粋

事業者の概要

開設者の名称	社会福祉法人 駿河厚生会
主たる事務所の所在地	静岡県沼津市大岡3571番地の1
電話番号	055-926-8500
法人の種別及び名称	社会福祉法人 駿河厚生会
代表者職	理事長
代表者氏名	河野 義文

施設の名称	地域密着型介護老人福祉施設 柏葉尾苑（かしぼおえん）
施設の所在地	静岡県沼津市大岡3947番地の1
電話番号	055-955-8777
施設長名	河野 義文
介護保険事業所番号	2291100481
事業種別	指定地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
開設年月日	令和5年4月1日
定員	29名
交通の便	JR沼津駅からタクシーで20分 バス停「マーレ沼津工場前（北小林）」より徒歩20分

(注) 当施設「柏葉尾苑」は、介護老人福祉施設「沼津フジビューホーム」（沼津市大岡3571番地の1）を本体施設とし、本体施設との密接な連携を確保しつつ、本体施設とは別の場所で運営されるサテライト型居住施設です。

職員数

職種	員数	勤務の体制	
施設長	1人	常勤 1人（本体施設との兼務）	
生活相談員	1人	常勤 1人	非常勤 0人
看護職員	1人以上	常勤換算 2人	
介護職員	9人以上	常勤換算 15人 （うち、1人以上はユニットリーダー）	
管理栄養士	1人	常勤 1人 （本体施設との兼務）	非常勤 0人
機能訓練指導員	1人	常勤 0人	非常勤 1人
介護支援専門員	1人	常勤 1人	非常勤 0人
調理員	(株)クリエイティブ食彩倶楽部 委託給食です。 住所：富士市伝法 114-9 TEL：0545-221-1055		

<入所者の状況>

入所者の要介護度・年齢（令和6年9月21日～令和6年11月22日）

利用者数		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	人数計
65歳未満	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0
65歳以上 75歳未満	男	0	0	2	0	0	2
	女	0	0	0	1	1	2
75歳以上 85歳未満	男	0	0	0	3	2	5
	女	0	0	1	1	1	3
85歳以上 95歳未満	男	0	0	2	0	0	2
	女	0	0	6	4	1	11
95歳以上	男	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	2	5	0	7
人数計		0	0	13	14	5	32

令和6年11月22日現在

◎平均介護度 3.72

◎平均年齢 85.3歳（男性79.0歳・女性88.2歳）

入院 ・R6.11.17～R6.11.19 敗血症 順天堂大学医学部附属静岡病院
R6.11.19～ きせがわ病院に転院

退所 看取り・逝去 3名

入所 岡宮グリーンヒルから1名
ご自宅から2名入所

<活動状況の報告>

(※ イベント・生活の様子を映した写真 掲載略)

- ◎敬老会
- ◎焼き芋大会
- ◎不在者投票
- ◎秋祭り
- ◎スイートポテト作り

研修

研修内容	実施月	参加対象者	場所
ノーリフティング研修	R6年 10/15・11/13	介護職員	フジビュー デイルーム
認知症介護 実践者研修	R6年 5/31・6/27・7/29・8/6・9/24	フロア長 1名	三島商工会議所
	R6年 7/26・8/20・9/4、19・10/30	介護職員 1名	ふじさんめっせ
	R6年 10/7、21・11/18・12/2 R7年 1/21	介護職員 1名	シズウェル
認知症介護実践 リーダー研修	R6年 7/9、22・8/9、22・9/6 17・11/26 or 29	介護職員 1名	シズウェル
指導職人事考課研修	R6 10/8	生活相談員	フジビュー 地域交流室
個室ユニット型施設 自己診断研修会	R6年 10/15、21、28	理事長・次長 事務課長 生活相談員 フロア長 ケアマネージャー	ZOOM
介護事業経営戦略セミナー	R6年 10/16	生活相談員	ZOOM
法人後見推進研修会	R6年 10/30・11/15	ケアマネージャー	ZOOM
R6年度 第2回 BCP 机上訓練	R6年 11/1	全職員	柏葉尾苑 地域交流室

ヒヤリハット 7件

◎10/9 (月) 16:00

杉本商店がみえたため、スタッフが声をかける。その際、上の入れ歯が入っていないことに気づく。探すと、ご本人が着ているベストの右ポケットから見つかる。
→昼食後の口腔ケアで、入れ歯ケースに入れたかどうかの確認をしていなかった。今後、食事前に入れ歯は入っているかの確認と、食後は入れ歯ケースに入れたかの確認を行っていく。

◎10/27 (日) 21:30

眠りスキヤンの反応あり。訪室すると、ベッドに端座位になっている。「起きたい」とお話ししている時に、右前腕に1cm大の皮むけに気づく。本人に聞くが、気づいていなかった。
→ご自分でひっかいてしまった可能性あり。爪が伸びていたため、常に短い状態にしておくように切る日を決める。

◎10/28 (月) 19:00

A様が居室にいないことに気づく。トイレを確認すると、トイレに座っているご本人を発見する。声をかけると「(トイレにいることが)分かっていると思ったから」とトイレコールを押さずに待っていた、とのこと。謝罪する。座りすぎてお尻が痛い、と訴えあり、確認するが外傷等は見当たらず。
→遅番スタッフがトイレに誘導したが、夜勤者に申し送らずに退勤したため、夜勤者はベッドにいるものだと思い込んでいた。申し送りを徹底していくとともに、遅番スタッフが入床介助した入居者様の確認を夜勤者が行っていく。

◎11/7 (木) 20:30

A様の車椅子点検を行うと、タイヤの空気が抜けていたため、ベッド上でテレビを見ていたご本人に伝え、車椅子を預かる。空気を入れようとすると、他入居者様の眠りスキヤンの反応あり。10分程度対応している最中に、A様の眠りスキヤンが反応する。訪室すると、A様が這って居室ドアの方へ向かっている。車椅子を用意し、トイレ誘導する。
→車椅子をご本人から預かる際は、代替の車椅子を用意するよう徹底する。

◎11/7 (木) 18:50

11/9 (土) 22:00

11/11 (月) 21:10

眠りスキヤンの反応あり。訪室すると床に敷いていたベッドマットの上で、ベッドを背もたれにして座り込んでいる。
→11/7に入所した方であり、入所前は自宅で床に座り生活していたことから、ベッドから転落した等ではなく、床に座るためにベッドからご自分で降りたと考えられる。ご本人に暮らしやすいように、ご本人に確認しながら床対応(ベッドマットレスを床に敷く等)を試し、臨機応変に対応している。

インシデント 7件

◎10/6 (日) 10:20

入浴中。体を洗い、お湯を肩にかけると急に立ち上がったため、バランスを崩す。介助していたスタッフが支えきれず、一緒に座り込むような状態になる。ご本人は、正座のような形で座り、「痛いよ」と泣いている。立ち上がり、歩行もいつも通りであることを確認する。また、外傷等も見当たらず。

→リビングで寝ていたところに、入浴の声かけを行い、お風呂場に誘導したため、ご本人が納得する前にお風呂に入った状況と思われる。そのことにより、拒否が強く表れた可能性が高い。入浴前には早めに声をかけ、覚醒してから入浴にご案内するよう統一する。

◎10/14 (月) 19:52

眠りスキヤンの反応あり。訪室すると、すでにベッドの横の床でお姫様座りの状態になっている。外傷等は見当たらず。即時センサーを設置していたが、コールが鳴らなかったため、即時センサーの確認を行う。起き上がりや立ち上がり動作を行っても反応せず。即時センサーの全ての配線をつなぎ直して、再度確認すると反応するようになる。

→今までも、夜勤者が出勤した際、即時センサーの通知オンの点灯確認をしていたが、それに加えて検知の作動確認を行うことにする。

◎10/16 (水) 14:50

ベッドから車椅子に移乗する際、スライディングボードを使用。ベッドから車椅子にお尻を滑らせたところ、ご本人がベッドのL字バーをしっかりと握りしめている。車椅子に到着する前に、L字バーを掴んでいた腕が伸び切ってしまう、車椅子に座れない状態になる。ベッドに戻ろうとするも、戻せず。ゆっくりとその場で床に座り込むように対応する。

→紫陽花ユニットからバラユニットへ居室移動したばかりで、移乗等の介助に慣れていなかったにも関わらず、1人で対応しようとしてしまった。不安がある時は、他スタッフに声をかけ、一緒に行くようにする。

◎10/19 (土) 10:40

浴槽から出て、脱衣所へ向かう途中、足を滑らせる。スタッフは付き添っていたが、ご本人の前から介助をしていたため、支えきれず、座り込むような状態になる。看護師にインカムで報告し、看護師とともに外傷確認行うも、特に見当たらず。歩行状態も変わりなく歩いている。

→床が濡れていて、滑りやすい状態だったにも関わらず拭き取らないで対応しようとした。床が濡れている時は、都度拭き取る。また、リフト用シャワーチェアのまま脱衣所に出ることで、水滴を落とすことになるため、シャワーチェアで脱衣所に出ないよう徹底する。

◎10/24 (木) 16:30

スタッフがリビングのゴミ集めをしていると、“ドンッ”と音がしたため振り返ると、左側を下にして倒れているのを発見する。椅子に座っていたが、2~3歩歩いた辺りで倒れている。額に5cm程度のたんこぶが出来ているが、ご自分で立ち上がることも可能。職員の声掛けにも「大丈夫です」と反応良い。看護師に報告する。

→ご本人が歩き出す際、方向転換が必要な席位置だったため、立ち上がってそのまま歩き出せる位置に変更する。

◎10/30 (水) 20:30

他入居者様の対応をしていると、ドンッと物音がする。探すと、ベッド横の床に左下半身を下にして横たわっているA様を発見する。靴を履いていたため、ベッドから起き、自分で靴を履き、歩き出した際に転倒したと思われる。A様「大丈夫だから起こしてください。」と意識ははっきりしている。外傷確認も痛みの確認も行うが、特に見当たらず。

→眠りスキヤンの反応があったが、他のコールもひっきりなしに鳴っている状況で、気づくことが出来なかった。対応に入る時は、隣のユニットの夜勤者にナースコールが鳴った際、応援をお願いしたい旨を伝えていくこととする。

◎11/7 (木) 14:00

A様の希望でトイレ誘導を行う。トイレに座ったところで、他入居者様から眠りスキヤンの反応あり。A様に他の方の所に行くが、すぐに戻るため、このままお待ちください、とお伝えし、離れる。他入居者様の介助が終わり、トイレに戻ると、トイレの床に座り込んでいる状態になっている。「ズボンを上げようとした」とご自分で頑張ろうとされた様子。外傷確認すると、臀部に広範囲にわたり赤みがあるが、床に座っていたためと思われる。それ以外にはない。

→ご本人が靴が嫌い、と裸足だったため、滑ったと考えられるため、立つ時には靴を履いてもらうよう声をかけていく。また、ご本人からお返事があったとしても、動く可能性があることを念頭に置き、A様からは離れず、他職員に協力を求める。

事故報告 0件

<p style="text-align: center;">会 議 録</p>	<p>日時 令和6年11月22日(金) 14:00~15:20</p>	<p>場 所 柏葉尾苑 地域交流室</p>	<p>記 録 手塚</p>
<p>会議名 令和6年度第4回 運営推進会議</p>	<p>参加者 門池地区連合自治会会長 門池連合自治会副会長 駿河厚生会役員理事 かどいけ地域包括支援センター 駿河厚生会理事長 河野義文 柏葉尾苑生活相談員 手塚春菜 柏葉尾苑管理栄養士 杉山薫</p>		
<p style="text-align: center;">議 題</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p>		
<p>1. 開会の挨拶</p> <p>2. 入所者状況の報告</p> <p>3. 活動状況の報告</p>	<p>理事長「おかげ様で柏葉尾苑も順調に1年と8カ月が経つ。先日は、県社協の主催で行われた体験ツアーの東部代表の施設として選ばれ、学生さん達にお越しいただいた。11/27には、浜松の方から生産性向上推進体制加算Ⅰを取得するための方法を学びに20名ほど来る予定。開設して間もない施設だとスタッフの入れ替わりが激しくなると思われるが、組織が崩れるほど大きな動きもない。また、認知症研修に介護職員が参加し、学びを深めている。サービスの質の向上や加算の算定にはスキルが必須であり、そのための勉強をしていかなくてはならないと考える。」</p> <p>【入退院】 11/17に意識消失し、救急搬送。敗血症の診断にて入院となる。意識が戻ったため、11/19に転院し、抗生剤を投与・治療している。</p> <p>【入退所】 退所者3名（看取り） 入所者3名</p> <p>【行事】 手塚「昨年はコロナの関係で参加できなかった秋祭りに、今年は参加することができました。想像以上にご家族にもお越しいただくことができ、楽しい時間を過ごしてもらえたと思う。外出の制限はしていないものの、面会の制限は1回30分程度等、制限があるため、ゆっくりご家族と過ごしていただく時間を設けることができよかったです。」</p> <p>【研修】 手塚「理事長からもお話しがあったように、認知症介護実践者研修に今年度は合計4名参加することになる。来年度には、認知症介護リーダー研</p>		

	<p>修に参加してもらい、ステップアップしていく。また、本体施設のフジビューホームはあるが、柏葉尾苑は個室ユニット型施設として、どのようにしていくべきか、研修を通して学んでいるところである。」</p> <p>【ヒヤリハット】 7件報告</p> <p>【インシデント】 7件報告</p> <p>【事故報告】 0件報告</p>
4. 管理栄養士から	<p>非常食7日分を実際に手に取り、見ていただく。</p> <p>杉山「1～3日は非常事態で、何も出来ない状況となる。よって、袋から出して、そのまま食べられるものになっている。火や水をすぐに使えないことを想定している。今、ご覧いただいているもの以外にも、嚥下困難な方には、別のものを用意している。」</p> <p>A委員「カセットコンロ等も用意はしているのか。」</p> <p>杉山「している。ある程度、落ち着いたたら、お湯をわかしたり、と温かい物を出せるように準備している。」</p> <p>B委員「有事の時には、温かい物を欲するから、大事になる。」</p> <p>杉山「先日、手塚と相談したが、管理栄養士として、表を作成している。実際に1日目の朝・夕、といった表示では、昼間に発災した際に、1日目の朝の分はどうしていくか等、あいまいになってしまうと考えられる。どのように取り扱っていくか、表示していくか等、まだ検討段階であるが、出来る限り誰が見ても理解でき、指示がなくても対応できるようにしていかななくてはならない。」</p>
5. おやつ提供	<p>メニュー：サツマイモのパウンドケーキ</p>
6. その他	<p>A委員「今後、この会議はどのようにしていく予定か。他の所にも参加しているが、よく入居者の代表（ご家族）が会議に出ている印象。また、報告はしなくてはならないのかもしれないが、申し訳ないが、それについて意見も質問も挙げる事が出来ない。地域の要望とは何か、を話し合うべきでは？地域密着というくらいなので、地域と連携できれば、と思うがどうか？せっかく会議に参加するなら、少しでもお役に立ちたいと思って参加させてもらっている。インシデント等を聞いても、“気を付けてください”で終わってしまう。」</p>

理事長「柏葉尾苑は、社会的には“施設”であるが、施設として運営していく、と言うより、地域密着の個室ユニットの特性である“入居者が選択し、決定していく”ことになる。つまりは、在宅の生活と変わらないような生活を与えていくことになる。また、今後、ここ（地域交流室）は名前の通り、地域の方やご近所さんが来たり、入居者の皆さんが集まる場所としていけるように、と考えている。入居者の皆さんは、ただ寝て、食べて等だけではなく、社会的参加が出来ること、ノーマライゼーションをしていかななくてはならない。」

A 委員「ユニットとしての目的や地域交流室の開放については、チラシ等の回覧もなにもまだない状況であり、これからだと、現在の状況は分かった。あとは、開設前に内覧会は行ったのは知っているが、開設後に、どのような状況か、実際に見てもらうための見学会的なものをするとかどうか。会議の内容を活性化させないといけないのでは？会議を行う目的が分かれば、こちらも前もって準備が出来る。」

理事長「その通りだと思う。私達では、まだそのレベルで考えることが出来なかった。地域の方との触れ合いをしていかないといけない。やっていることを地域の方に知ってもらう機会を作らないといけない。」

A 委員「地域包括ケアシステムといっても、逆行しているように感じる。住み慣れた場所で、住み慣れた生活を、と言っているが、現状、施設や病院で最期を迎える人は増えているわけだし。ここみたいに、在宅の生活をそのまま施設で、となる訳でしょ。」

理事長「おっしゃる通り。在宅をそのまま施設に、という考えに我々職員の頭をシフトしていかないといけない。」

A 委員「ようは、アパートみたいなものですね。施設であるが、自分の家のように居られることが大事ってこと。」

理事長「（施設の）トップが勉強しなければならない。現場職員が勉強するだけではいけない。トップがノウハウを知らないと、舵取りが出来ない。フジビューとは違った考え方で、柏葉尾苑を運営していかないといけない。環境整備（設え）をはじめ、スタッフの考え方や利用者本位であること、利用者の選択と決定でケアをしていくことを勉強している。」

A 委員「やはり、ここ（施設）に入れられて、隔離していただけない。周り（地域）の方との交流が必要だと思う。」

手塚「思いつきでの提案となるが、例えば、こういった機会に地域の方との交流として、一緒におやつ作り等を行う、というのはどうなのか？Cさん、いかがでしょうか。」

	<p>C委員「行事として開催するのではなく、あくまでも、会議として開催すべきである。交流もいいが、有事の時にどう利用者様に対応していくのか、地域の中にどう関わっていくのかがいいか、を話し合わなくてはならない。ご家族の参加を促していくのも大切。情報を共有していれば、有事の時に、ご家族にも協力してもらえるかもしれない。」</p> <p>理事長「では、次回から前もってテーマを決めて、開催する。」</p> <p>A委員「そうしてもらえると助かる。今回は、12/8のこともあったため、この会議で、12/8よろしく、と伝えておきたかった。そういった、参加者からの意見も、出していけるといい。」</p> <p>B委員「テーマっていても、決めるのも大変…」</p> <p>理事長「地域の中の居住施設のため、フジビューは27年という歴史があるが、柏葉尾苑は1年目としてケガをしないように、とやってきた。少しずつ進めればいいと考えている。この会議もその1つ。少しずつ次の段階に進めるといい。」</p> <p>A委員「どの企業も、4年目からやっと利益をあげることができる、というくらい1~3年目って大変だと聞いている。そんな中、開催している会議だが、少しでも役に立てればと思う。」</p> <p>理事長「よろしくお願いします。」</p> <p>次回の地域運営推進会議 1月24日（金） 14：00～</p>
--	--